



課税前の売り手の余剰は図1の $\triangle DEF$ 、買い手の余剰は図1の横線部分である。課税後の売り手の余剰は図2の $\triangle AIG$  ( $=\triangle CHF$ )、買い手の余剰は図2の横線部分である。

ア：適切である。上記の説明のとおり、買い手の余剰は課税によって $\square AIED$ 分減少し、売り手の余剰は $\square DEHC$ 分減少する。減少分は買い手余剰のほうが大きい。つまり、税負担は買い手=需要者のほうが重い。